

■会員 Now

イー・アンド・イー ソリューションズ株式会社 —受託業務のご紹介—

イー・アンド・イーソリューションズ株式会社 中尾 徹

はじめに

総会 Report 局の紹介の欄で、ご紹介させていただきましたように、私はイー・アンド・イー ソリューションズ(E&ES)株式会社から一般社団法人 日本風力発電協会に出向しています。ただ籍はE & ES にあって業務も継続して携わっておりますから、昨年度の協会誌第5号の本欄で記述しました「洋上風力発電実証研究 F/S 評価」のその後の業務に関して私からその一端をご紹介いたします。

NEDO 技術開発機構は、昨年度(平成 21 年度)から5ヶ年計画で「洋上風況観測システム実証研究」に着手しました。弊社は、芙蓉海洋開発(株)殿と共同で「洋上風況観測システム実証研究」の内、「環境影響評価手法の確立業務」を受注し、調査を開始し1年半余りになります。

環境影響評価手法の確立業務

環境省では、「風力発電」を環境アセス法の対象事業として位置付けることとしていますが、NEDO ではその動きとは関係なく、独自に洋上版の風力発電環境影響評価マニュアル(案)を平成 25 年度までに最終成果物として作成することを目標としております。

そのため主に海外の洋上風力発電環境影響評価に関する文献・既往調査資料を収集し、業務の取りまとめの参考にしております。

ここでは環境影響評価マニュアルの中で記述する項目の概要を示します。

(1) 洋上風力発電と環境影響調査の流れ

洋上風力発電の導入の流れと環境影響調査の流れを対比させて、全体計画の中で環境影響調査を位置付けます。なお環境アセスメントは事前調査結果に基づき評価報告書を取りまとめるものです。

(2) 環境影響調査の分類と調査内容

環境影響調査は、時系列に並べると4つの段階に分類されます。①計画時調査、②事前調査、③工事中の調査及び④供用事調査で、各調査の内容について取りまとめます。

工事中調査と供用事調査はアセスメント評

価書が認可された後に行うモニタリング調査ですが、マニュアルにはこれらの調査も記述する予定です。

(3) 環境変化の予測と海生生物に対する影響評価

現地調査のデータを基に海域環境の実態を把握するとともに、洋上風力発電施設設置後の環境変化を予測し、海生生物への影響評価を行います。影響予測手法としては、既往調査事例や数値シミュレーション結果等があげられ、これらにより評価します。

(4) 洋上版環境影響評価マニュアル(案)の作成

洋上風力発電事業者が活用しやすいように、環境影響評価に関する検討結果をマニュアルとして取りまとめます。

おわりに

弊社は、長年、多岐に亘って風力発電に関する様々な調査・研究を実施しておりまして、お陰様で国、法人、地方自治体、民間、銀行等、お客様も他分野に亘っております。今後とも信頼されるコンサルサルとして精進いたしますので、ご愛顧の程、宜しくお願い申し上げます。

イー・アンド・イー ソリューションズ株
風力分野の主担当者：加藤秀樹/中尾 徹
東京都千代田区外神田 4-14-1 秋葉原 UDX ビル
Tel:03-6328-0130 Fax:03-5295-2051
E-mail:h-kato@eesol.co.jp/t-nakao@eesol.co.jp



ピンガー標識を装着中のゼニガタアザラシ
(Teilmann, *et al.*, 2006)